眼瞼手術クリニカルパス（2泊3日）　　様

		手術前日（入院）　／	手術当日　／	手術1日目（退院日）　／
観察		状態に合わせて体温や血圧、脈拍を測ります 	痛み、腫れ、出血（血の混じった涙）、吐き気の症状を見ます 	
安静 排泄		自由に動くことができます	手術後は歩いてトイレに行くことができます （初回のみ看護師が付き添います） トイレ以外はなるべく安静にしていましょう	※見えにくさがある方は注意して動いてください ※階段の使用は避けてください
食事		普通食（治療食の場合もあります）  手術予定時間が15時までの場合、21時以降の食事・ジュース類を食べたり飲んだりできません	手術前、食事・水分摂取の制限があります  【全身麻酔の場合】 手術が午前の場合：7時から水分の摂取はできません 手術が12時～15時までの場合：9時から水分の摂取はできません 手術が15時以降の場合：8時から食事・ジュース類の摂取はできません、12時から水分の摂取はできません ※帰室3時間後に看護師がお腹の音を確認後、水分をとることができます ※帰室4時間後に食事・ジュース類をとることができます 回復の具合によりますので看護師に確認してください 【局所麻酔の場合】 手術2時間前より絶飲食 ※帰室後から食事・水分をとることができます 回復の具合によりますので看護師に確認してください	普通食（治療食の場合もあります）
清潔			入浴はできません	帰宅後からシャワー浴することができます 次回外来までは湯船につかることは避けてください 
診察 処置			毎朝、8時頃から医師による回診がありますので部屋でおまちください 術後、創部を冷やします	
薬物療法	点滴		手術中に点滴が始まります 【全身麻酔の場合】翌朝回診まで補液の点滴があります 帰室後に抗生剤の点滴があります 【局所麻酔の場合】手術終了後に点滴の針を抜きます	【全身麻酔の場合】朝の回診後に点滴の針を抜きます
	内服薬	常用薬を看護師がお尋ねします ＊入院中の分は持参してください ＊中止する薬があればお知らせします 	【全身麻酔の場合】痛み、吐き気、発熱時は薬を使用します	
説明 指導 退院計画		病棟内の説明があります 入院までの経過を看護師がお聞きします 看護師から手術についての説明があります 手術同意書の確認をします 	手術室までは歩いていきます 手術室へ行く前にトイレと着替えをすませ、両腕を洗い、歯磨きをしましょう 着替える服は看護師が持って行きます ネームバンドの確認をします 帰りは、全身麻酔の場合はベッド、局所麻酔の場合は車椅子で戻ります	看護師から退院後の生活について説明があります 次回外来について診察時に説明します 診察券と次回の予約券をお渡しします
目標		術前オリエンテーションが理解でき納得して治療を受けることができる 入院中のスケジュールが理解できる	痛みなど苦痛症状を医療者に伝えることができ、創の安静を保ち、感染を起こさないように注意した生活を送ることができる （痛みの程度は数字の0から10 「0：痛みなし、10：これ以上ないくらい痛い」で伝えてください） 必要な観察処置を受けることができる	退院後の生活の注意点がわかる 傷の感染（患部の熱感、腫れ、膿が出る等）がない

症状経過によってはスケジュール通りにならないこともあります。

2017年10月作成　（2025年7月改訂）聖隷浜松病院　B4病棟